

番号	上の句	下の句	作者
100	空駆ける天弓放ち占いす	生の采配は神のまにまに	霄漢
99	高師浜 昔景勝 今工場 たかしのはまむかしけいしやういまこうば	あはれ失くして何を想へば	みたまのふゆ
98	途中まで書いたノートを閉じるたび	続きは明日と言いつく	忍な
97	答え見て埋めたとしても出したなら	勝ちだと思つてペンを走らす	あー
96	その瞳過ぎゆく風が刹那なり	桜花散る時ぞ悲しき	落雁
95	推し活は際限がない好きの言語	表すものこれぞ青春	りしゅあ
94	来年は最高学年 六年生	みんなを引っ張る素敵な学年	さっちゃん
93	少しだけ見始め気づくふとみると	気づくとじかんおやだいげきど	学校進行委員長 ランドセル6年目のLJS
92	キズなんはネツ友作る愚痴言える	唯一無二の相談所	和泉式部じゃないけど
91	なんでかはみんな知らない日常は	世界で作るものだったって	きなこもち